

- ② 洪水浸水ハザードマップを刷新
- ③ 検診でがんを早期発見
- ④-⑤ 特集 つながるセーフコミュニティ
～安心・安全を次の10年へ～
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



みんなが アート!

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV10/1～
野外彫刻造形展を紹介

野外彫刻造形展 あつぎ青空アート展

入場
無料



プロの彫刻家や造形作家から子どもたちが制作したものまで、バラエティー豊かな作品が大集合。ぜひお越しください。

日時 10月7～14日 10～15時

会場 ぼうさいの丘公園

内容 作品展示、各種体験教室など

申し込み方法など詳しくは [厚木市 野外彫刻造形展](#) [検索](#)

小さな手のひらに思い思いの絵の具を付けた子どもたちが、喜々とした表情で真っ白い紙に手形を付けていきます。思のままに押し付けていくと、紙はたちまち色鮮やかな作品に変身。南毛利保育所の園児が作っているのは「野外彫刻造形展」に出品する「なんもつりすいぞくかご」です。同保育所所長の井上尚子さん(59)は「子どもの自由な発想を邪魔しないで、好きなように表現してもらえよう、毎年作る題材を工夫している」と笑顔を見せます。

絵や彫刻、造形などは作る人、見る人の想像力を育み、心を豊かにします。市では、市民の皆さんに気軽に芸術に触れてもらうため、毎年、ぼうさいの丘公園に作品を展示。期間中は、写真教室や木の実を使った工作教室、缶バッチ作りなども楽しめます。

アートの楽しみ方は十人十色。作って、見て、感じて、みんなで芸術の秋を満喫しましょう。

園文化生涯学習課 ☎225-2508

Zoom Up

大雨から身を守る備えを

洪水浸水ハザードマップを刷新

近年、大雨による洪水や浸水の被害が全国各地で相次いでいます。市では、市内八つの主要河川の浸水予想などを見直し、新たな洪水浸水ハザードマップを作製。10月以降に全戸へ配布します。いざという時に自分や家族の命を守るため、危険箇所や避難経路を確認しておきましょう。

6～7月に西日本で発生した豪雨は、多くの死者や行方不明者を出し、大きな傷痕を残しました。住宅の全壊が約5千棟、床上浸水は約1万5千棟に上り、今も復旧作業が続いています。

災害は、いつ自分の身に及ぶかわかりません。多発する大雨などによる浸水被害に備え、市では、洪水浸水ハザードマップをリニューアルしました。

最大の洪水・浸水を想定

マップには、雨が降ったときに洪水



マップと広報あつぎ9月1日号の防災特集で避難経路を確認

マップと合わせて確認を

浸水継続時間や洪水で家屋の倒壊や流出の恐れがある区域など、マップにはない追加情報をホームページで確認できます。アクセスはこちら▶



環境事業課 宇根 伸一さん(44)

日頃の備えや対策を

西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市に、災害廃棄物処理の支援で訪れました。現地の皆さんは口をそろえて「まさか自分が被災するとは思わなかった」と話していました。避難情報などの確認が遅れ、逃げ遅れてしまった人もいたと聞きます。人々が大切にしてきた家財や街並みが洪水で流されてしまった現実を目の当たりにし、日頃の備えや対策の必要性を強く感じました。



山積みになった災害廃棄物

家庭や地域で確認を

洪水で家屋の倒壊や流出の恐れがある区域の2点も、市ホームページで確認できるようにしました。

マップは、手元にあるだけでは十分な効果を発揮しません。使い方(右下欄参照)を理解し、備えておくことが大切です。西日本の豪雨で甚大な被害を受けた愛媛県大洲市の危機管理課職員は「洪水や浸水の被害は市のマップの想定とほぼ一致していたが、確認してい

ハザードマップの活用法



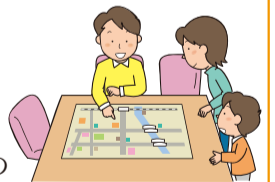
災害に直面した時、とっさの判断や行動が多くの命の行方を左右します。使い方をきちんと理解し、家族や地域で活用しましょう。

10月以降 全戸配布

ハザードマップが自宅に届いたら…

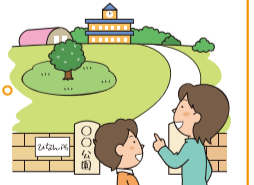
ステップ1 自分の家は大丈夫? 色をチェック!

塗られている色で、河川が氾濫した場合の浸水状況を知ることができます。



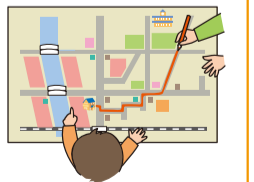
ステップ2 ここまで逃げれば一安心。避難場所を確保!

自宅付近の避難所をマップで確認しましょう。



ステップ3 水を回避、危険も回避。安心な道を見つけ出せ!

浸水箇所を避け、避難経路を設定しましょう。



ステップ4 実体験に勝るものなし。自分の目と足で確かめよう!

実際に避難経路を歩いて安全を確認しましょう。



災害に強いまちに

浸水被害の軽減策として、市ではハード面の整備も進めています。2019年度の完成を目指し、昨年からは公園地下に雨水貯留施設を設置する工事をスタート。8月には市内を流れる河川の水位や様子をどこからでも確認できるよう、インターネットでの画像の配信を始めました(下欄参照)。

いざという時に多くの命を救うには、市の災害対策と、市民の皆さん一人一人の備えが欠かせません。この機会に、家庭や地域で改めて防災対策を見直しましょう。

危機管理課 ☎ 225-2190

河川の水位をインターネットで確認

河川の水位や様子を映した画像を、お手持ちのスマートフォンやパソコンで確認できます。大雨などの際に避難の参考にしてください。



【確認できる河川】相模川、中津川、小鮎川、荻野川、玉川、細田川、恩曾川

詳しくは 厚木市河川水位情報 検索 河川ふれあい課 ☎ 225-2380



検診を受ける習慣を身に付けることが大切

Q Zoom Up

定期的に受診しよう

検診でがんを早期発見

「がん」は、生涯で2人に1人になる病気です。発症数が増える一方、早期発見で治る確率も上がっています。市では毎年、がん検診を実施しています。定期的な受診し、早期発見・治療につなげましょう。

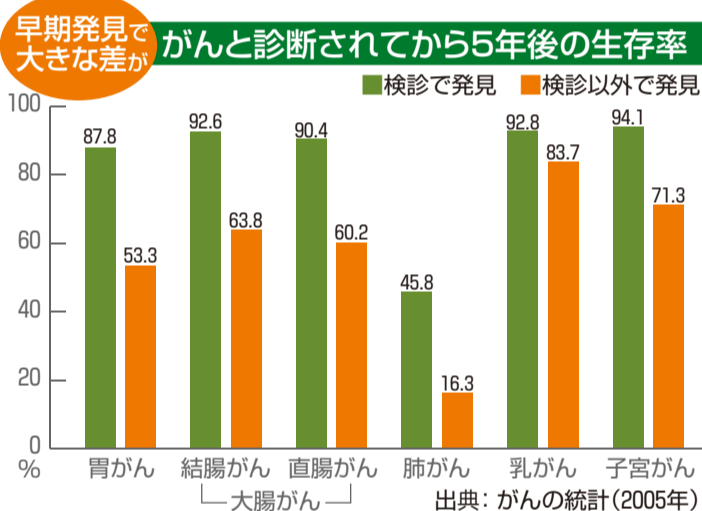
大切なのは早期発見・治療

「生活習慣には気を付けている」「自分の親族にはがんになった人がいないから大丈夫」と油断していませんか。近年、食生活の変化や喫煙、飲酒、運動不足、ストレスなどが要因となり、がんの発症・死者数が増加。国内の発症数は、過去30年で約3倍にも膨れ上がっています。

がんは、長年日本人の死亡原因1位となつている恐ろしい病気です。しかし、医学の進歩により、早く発見できれば治る確率も上がっています。検診でがんが見つかった勝田辰雄さん(72・酒井)は、自覚症状が無かったため、まさか自分がなるとは想像もしていませんでした。勝田さんは「今も以前と変わらない生活を送っているのは、発見が早く、手術も体への負担が少なく済んだから」と検診の重要性を訴えます。

生活習慣を見直そう

がんを未然に防ぐには、定期的な検診はもちろん、運動や睡眠の不足、暴飲暴食などの不規則な生活習慣を見直すことが大切です(右下欄参照)。いつも「自分は大丈夫」と過信せず、定期的に検診を受けるなど、健康管理を徹底しましょう。



女性は乳がんに要注意

がんは、これまで高齢者がかかりやすい病気と考えられてきました。しかし、最近では40代前後の若年層でも発病する方が増えています。特に注意したいのは、女性で最も割合が高い乳がんです。乳がんの発症率は、女性ホルモンの関係で40代と60代に高まります。中でも、40代は育児や仕事で受診率が低いため、要注意です。

定期的な体のメンテナンスを
東名厚木病院 副院長 日野 浩司さん(58)

がんは大きくなればなるほど、転移の可能性が高くなるため、早期発見が鍵になります。乳がんの場合、2センチほどにならない限りは自覚できませんが、検診では数ミリでも発見できます。初期であれば乳房の切除も小さく済みすし、手術の影響も少なく、すぐに仕事や育児に復帰できます。

検診以外で乳がんを見つけるには、セルフチェックが有効です。しこりがある場合、手を上に伸ばし、反対の手で外側からなでると見つかります。月に一度でもいいので、健康状態を確認する時間を設けましょう。

健康づくり課 ☎225-2201

市が実施するがん施設検診		
検診名	対象	内容
子宮がん	20歳以上の女性	頸部細胞診(該当者は体部検査も実施)
乳がん	30歳以上の女性	視触診
胃がん	40歳以上の方	エックス線、内視鏡、リスク検査(血液検査)のいずれかを選択
肺がん		胸部エックス線検査
大腸がん		便潜血検査
口腔がん		口腔内検査
前立腺がん	50歳以上の男性	PSA検査(血液検査)

あなたの生活習慣は大丈夫? がんを未然に防ぐ5大ポイント

- 五つの心掛けで、がんになる確率を下げましょう。
- ① たばこを吸わない**
喫煙者は非喫煙者に比べ、がんになる確率が1.5倍高くなっています。市の支援などを活用して禁煙に取り組みましょう。
 - ② お酒はほどほどに**
お酒は、食道がんや肝臓がんなどのリスクを引き上げます。週に二日は、休肝日を設けましょう。
 - ③ バランスのとれた食生活を**
脂肪や塩分の大量摂取、暴飲暴食は体の大きな負担になります。野菜や果物を適度に取らしましょう。
 - ④ 適度な運動を**
運動の習慣が、がんになるリスクを下げます。少し遠回りをして歩く、できるだけ階段を使うなど簡単な運動を取り入れましょう。
 - ⑤ 適正な体格指数(BMI)値を保つ**
BMI値が高すぎても低すぎてもがんのリスクが高くなります。生活習慣を見直し、適正な値(22前後)を保ちましょう。
- 計算方法 体重kg ÷ 身長m ÷ 身長m

スリーアール 10月は3R推進月間

三つの「R」の取り組みで、環境に優しい生活を送りましょう。

Reduce リデュース
ごみになる物を減らそう
もったいない運動
食品は計画的に購入・消費し、食べ残しや期限切れを防ぎましょう。

Reuse リユース
物を繰り返し利用しよう
市民ふれあいマーケット
日時 11月4日、9時～13時30分(雨天中止)
場所 厚木中央公園
内容 家庭で不要な日用品や衣料品を販売

Recycle リサイクル
資源として再び使おう
資源ごみの分別
お菓子の箱や包装紙などは燃えるごみではなく、資源ごみです。紙袋に入れて「雑がみ」として出しましょう。

☎環境政策課 ☎225-2749



市街地をパトロールする小池さん(右)と井上さん(左)。お互い声を掛け合い十数人が集まる

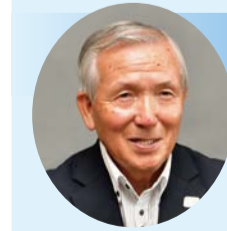


車通りの多い通学路で青色回転灯搭載車パトロールの打ち合わせをする石井さん(左)

アジア地域 SC会議厚木大会 安心・安全シンポジウム

「SCの主役は市民の皆様です!」をテーマに、市内活動の報告や専門家による助言などを発表します。公民館などにある申込書を直接、電話またはファクスで〒243-8511セーフコミュニティくらし安全課☎221-0260へ。先着順。

日時 11月12日 14時~ 会場 レンブラントホテル厚木



アジア地域 SC会議厚木大会 実行委員長 神保 忠男さん(73)

アジア大会で世界に発信

厚木市は、「自分たちのまちを、自分たちで守る」という意識の強いまちです。国際会議の開催地として選ばれたのは、市民みんなが地道に取り組んできた活動が、世界に認められた一つの証であると考えられています。

この機会に、厚木のすばらしさを世界に発信し、市内でも活動がより活発になればと思います。

☎セーフコミュニティくらし安全課☎225-2865

防犯パトロールで 駅前治安が改善

「今日はこつちを回ろう」「防犯灯、切れていないか」。十数人のメンバーがのぼり旗や誘導灯を持ち、本厚木駅前のにぎやかな通りを歩きます。「長く街の様子を見てきたけれど、昔に比べて客引きが減るなど、雰囲気は良くなったね」。西仲自治会の小池敏夫さん(77・田村町)は、10年以上パトロールを続けている一人です。自治会では、犯罪件数が特に多か

った本厚木駅周辺を気持ちよく歩ける環境にするため、市がSCに取り組み前から、自主的に見回りを続けています。今月に2回のパトロールは欠かせません。地道な活動が実を結び、本厚木駅周辺の刑法犯の認知件数は10年間で半分ほどにまで減少。小池さんたちは、みんなで続けてきた取り組みが成果につながっていることを喜ぶ一方「ほとんど旧知のメンバーで続けているけれど、新しい人に活動に加わってもらいたいのが本当に難しい」と将来を気に掛かっています。自治会では、若い世代に活動に関心を持ってもらうきっかけをつくるため、祭りや運動会など地域のイベントを通じて交流にも力を入れています。

井上竜治さん(40・田村町)は、祭りをきっかけにパトロール活動の一員になりました。会に所属する知人に誘われ、3年前から地域行事を手伝い始め、次第にパトロールにも参加するようになりました。井上さんは「誘われて始めたけれど、活動を通じてできた人との縁は大切にしたい。今では当たり前前の習慣として続けている。他の皆さんも、無理のない範囲でやっているから継続できているんだと思う」と話します。楽しい催しがきっかけに自分のまちを守る気持ちが生まれたという井上さん。地域の絆が、安心・安全なま



特集 安心・安全を 次の10年へ

つながる SC セーフコミュニティ

セーフコミュニティ(SC)は、市民が協働で安心・安全なまちをつくる取り組みです。活動を始めて10年が経ち、市内では体感治安の改善や事故件数の減少などの成果が現れています。今年11月には、これまでの成果を世界に発信する国際会議を市内で開催します。自分たちの力で、安心して安全に暮らせるまちにしたいという皆さんの思いが、未来へとつながっています。



祭りなどのイベントで、子どもたちの地域への愛着を育てる

学校・地域・保護者の 連携で子どもを守る

ちづくりの活動につながっています。

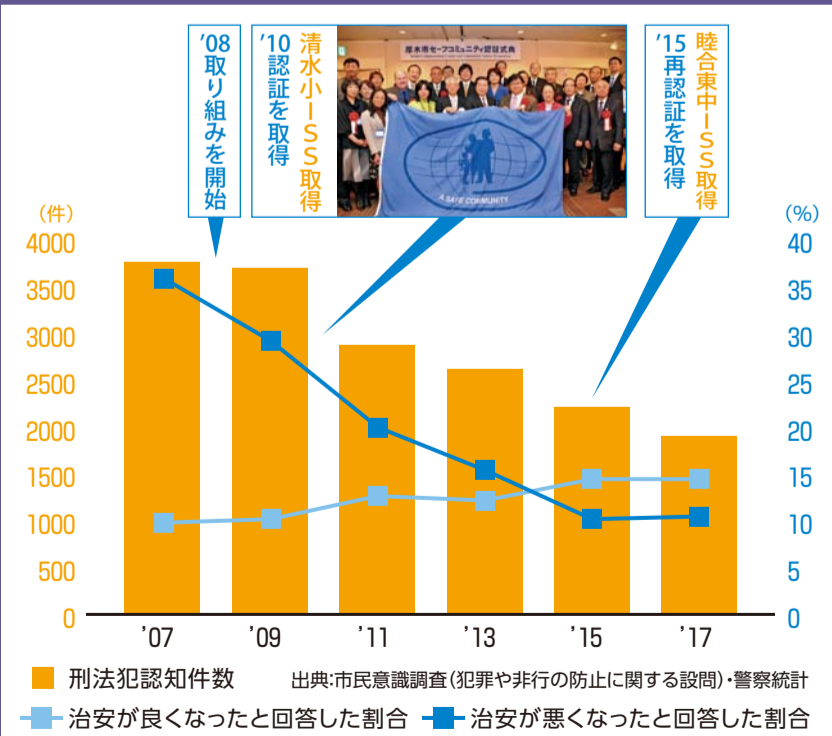
「ただいま」。学校帰りの子どもたちが、登下校を見守る皆さんの下へ元気に駆け寄ります。「おかえり。学校はどうだった?」「車が通るよ。気を付けて帰ってね」。三家南自治会長の石井勝巳さん(79・妻田東)は、会員の皆さんと一緒に、温かい笑顔で子どもたちを迎えます。石井さんは、自治会やPTA、学校などのメンバーでつくる「すこやかネットワーク会議」の議長も務めています。会議は、地区内にある清水小・妻田小・睦合東中学校の子どもたちの安全を地域ぐるみで守るため、2014年に発足。定期的な情報交換しながら、見守りや危険な場所の確認などを

3校は、児童・生徒が自ら安心・安全



10年の歩みと成果

自転車盗や空き巣などの犯罪件数は、3773件だった10年前からおよそ半分の1903件に減少。市内の体感治安が「良くなった」と答えた人の割合は10年間で5.6ポイント増加しています。



自治会の方から消火器の使い方を教わる澁谷さん(左)

地域の絆が 安心・安全をつくる

市内全域で、地域の実情に合わせた安心・安全への取り組みが続いています。見回りを長く続ける西仲自治会の小池さんと、子どもを守る活動に力を入れる石井さん。二人とも「近所同士、顔見知りになることが安心・安全につながる」と口をそろえます。声を上げやすく手を貸しやすい地域であるためには、普段から気軽にあいさつし合える関係づくりが欠かせません。10年前に始まり、市全体へ広がったSC。今では地域の皆さんの日常に溶け込み、住民同士の絆を育んで、安心・安全な生活を支えています。暮らしを守る習慣は人から人へとつながり、着実に未来へと受け継がれています。

ね」と目を細めます。

災害対応力の向上に向けて

厚木中央公園などで総合防災訓練を実施

大規模災害の発生に備えた総合防災訓練を、9月2日に実施しました。今年の訓練は、震度6強の揺れが起きた3日後を想定。市の職員や市民ら約1万1800人が、訓練に臨みました。

厚木中央公園では、市職員が倒壊した家屋の下敷きになった人の救助や倒木などでふさがれた道路を復旧する訓練を実施。防災姉妹都市の埼玉県狭山市と物資輸送訓練にも取り組まれました。自主防災隊は、学校の体育館や公園などで消火器や三角巾の使い方を確認しました。小林市長は「災害が起きる確率が高まっている。危機感を持って訓練に臨むことが大切」と話しました。



倒壊家屋からの救助訓練

街のNEWS



市長が保護者と本音トーク

子育てコミュニティトークがスタート

トークは、市長が掲げる「現地対話主義」の一環として毎年開催。8月25日の初日は、保護者8人が子どもの安心・安全や市の子育て支援をテーマに意見交換しました。参加した中田幸恵さん(40)は「市長を前に意見を述べたことは貴重な経験。他の保護者の意見もたくさん聞けて有意義だった」と話しました。

市では、自治会長や企業・団体と同様の意見交換会を開催し、皆さんの意見を取り入れたまちづくりを進めています。



子育てについて活発に意見が交わされた

夏の甲子園ベスト4を報告

高校野球全国大会出場の井上投手が市長を訪問

市内出身で日本大学第三高校野球部2年の井上広輝さん(17)が、第100回全国高校野球選手権記念大会ベスト4入りを小林市長に報告しました。井上さんは、2回戦の奈良大学付属高校戦で自己最速の150キロを記録。準決勝の金足農業高校戦では、8回に登板しピンチを救う好投を見せましたが、惜しくも1点差で敗れました。井上さんは「チームの力になったので満足している」と報告。小林市長は「期待が大きいとは思いますが、プレッシャーに感じず自分らしく頑張ってください」と激励しました。

井上さんは小学生時代、市内のソフトボールチームに所属。高校1年生で頭角を現し、活躍が期待されています。



力強く握手を交わす井上投手(左)

ジャズの音色とご当地グルメを堪能

「あつぎジャズナイト」に1万7000人が来場

夏の夜風を感じながらジャズの生演奏が楽しめるイベントを、8月下旬に厚木公園で開催しました。家族連れや仕事帰りの会社員らが、軽快なジャズの演奏を聞きながら、地ビールやご当地グルメに舌鼓を打ちました。

イベントは、街のにぎわい創出や商業の活性化を目的に開催し、今年で9回目。ステージでは、世界で活躍するサックス奏者やテレビ番組にも出演しているジャズグループなどが迫力ある演奏を披露し、会場を沸かせました。



軽快な演奏に沸く会場

アツギ x ニュージーランド ホストタウン通信



NZの学生と交流する市内の中学生たち

市内の中学生がNZの学生と交流

8月16~25日の10日間、市内の中学生10人がNZのウェリントンにある「ワイヌイオマタハイスクール」に体験留学しました。体験留学は、市のホストタウン交流事業の教育交流の一環として実施。生徒たちは英語をはじめ、料理やスポーツなど、さまざまな科目を受講しながら、現地の学生と触れ合いました。

滞在中は、ホームステイを体験。NZの文化を肌で感じる事ができました。生徒たちは、2度の事後研修を経て、10月1日の実績報告会で保護者や学校の先生などに現地での経験や学んだことを発表します。

来年3月には、高校生を対象とした留学プログラムも実施予定です。市では、今後もNZとの教育交流を進めていきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

県内トップレベルの企業誘致政策や立地条件の優位性などを発信する「企業立地フォーラム」を、8月21日に都内のホテルで開催しました。6年ぶりのフォーラムには、市内進出に關心のある企業や開発事業者など約180人の皆さんが来場。本市への期待を改めて感じたひとときでした。

東名高速道路の厚木インターチェンジ(IC)開通を機に、交通の要衝として栄えてきた厚木市。大手企業

厚木市では現在、恵まれた道路交通網を生かした都市基盤整備を進め、積極的な企業誘致を展開しています。将来を見据えた持続可能なまちづくりに向け、千載一遇のチャンスを実に生かしてまいります。

ひとまち 元気

市長 小林孝良



都内で企業に対する厚木の魅力をPR

圏央道が開通し、新東名高速道路の全線開通も2年後に迫っています。国への整備要望が続いている厚木秦野道路も完成すれば、市内のICは七つになります。

厚木市では現在、恵まれた道路交通網を生かした都市基盤整備を進め、積極的な企業誘致を展開しています。将来を見据えた持続可能なまちづくりに向け、千載一遇のチャンスを実に生かしてまいります。

の研究開発拠点や優良な中小企業が多いのは、市の強みの一つです。財政が豊かで国から普通交付税を受けられない交付団体(1765団体中78団体)を55年にわたり続けていられるのは、こうした企業集積と着実な企業活動のたまものといっても過言ではありません。

タウンガイド

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

☎=申し込み ☎=問い合わせ
☎=電話番号 ☎=ファクス番号
✉=Eメール HP=ホームページ
📍=マイタウンクラブ(印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込みもできます。)

アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

10月20日、10～14時。アミューあつぎ。JAあつぎ農産物直売所「夢未市」が新鮮な地場産野菜や厚木産の米「はるみ」などを販売。☎商業にぎわい課☎225-2834。

古民家岸邸の十三夜

10月17～28日(22・23日は休館)、10～15時。古民家岸邸。21日の十三夜に合わせてススキや団子などの展示を楽しむ。20日、13～15時には、昔遊びや月見にちなんだ「民話のおはなし会」も実施。無料。☎当日直接会場へ。☎郷土資料館☎225-2515。📍182332

ちびっこマラソン&駅伝競走大会

12月1日、9時～(雨天中止)。荻野運動公園。①マラソン=1.5kmの部(小学5・6年生)、1kmの部(小学3・4年生)、1km親子の部(小学1・2年生と保護者2人1組)。いずれも市内在住在学②駅伝=1区(1.15km)、2・3区(各1km)、4区(1.2km)。監督(責任者)1人、登録選手6人まで(走者は4人)。市内在住在学の小学3年生以上100組。

いずれも無料。☎スポーツ推進課や公民館、市立小学校などにある申込書(HPからダウンロード可)を直接または郵送、ファクスで10月1日～11月1日(必着)に☎243-8511スポーツ推進課☎225-2531・☎223-0044へ。②は先着順。

歯と歯ぐきの健康相談

10月25日、9時～11時30分。保健福祉センター。「健康も楽しい食事の良い歯から」をテーマにした歯科衛生士による歯磨きや口の悩み相談。歯間ブラシとデンタルフロスをプレゼント。無料。☎当日直接会場へ。☎健康づくり課☎225-2201。

あつぎ介護フォーラム '18

10月27日、14～17時。レンブラント

ホテル厚木。「健康長寿を目指そう・カギを握る高齢者のフレイル予防」がテーマの講演や福祉機器の展示、医療・介護の相談コーナーなど。無料。☎当日直接会場へ。☎厚木医療福祉連絡会☎222-1259。

未来につなぐ遊びと健康～心とからだの世代間交流～

11月7日、10～12時。依知南公民館。わらべ歌遊びと、体を整える自衛術の体験。市内在住の方30人。無料。託児あり(未就学児10人。要予約。先着順)。☎10月1日から日本わらべうた協会・田村☎090-4123-0010へ。先着順。

スマートエネルギーセミナー

10月25日、17時30分～19時。あつぎ市民交流プラザ。農業をしながら太陽光発電による売電収入を得るソーラーシェアリングを学ぶ。定員80人。無料。☎電話またはファクスで10月19日までに県エネルギー課☎045-210-4115・☎045-210-8845へ(県HPからも申し込み可)。先着順。

かながわ子どものみらい 応援団マッチングフォーラム

11月7日、13時30分～17時。文化会館。「こども食堂」の事例発表や講演、交流会など。定員200人。無料。☎11月1日までにファクスで県子ども支援課☎045-285-0728・☎045-210-8868へ(県HPからも申し込み可)。先着順。託児あり(1歳以上10人。10月1～24日に要予約。先着順)。

2019年度コミュニティ保育の園児を募集

子育てに共通の意識を持った保護者同士が、地域で特色ある保育を展開するコミュニティ保育の入園児を募集します。

ひよこコミュニティ保育・未就園児クラスつくしんぼ会員

木曜、10時～11時30分。鳶尾。1～3歳。☎ひよこコミュニティ保育☎242-0000。

第16回 郷土芸能まつり

地域に伝わる芸能を無料で観覧できます。ぜひお越しください。

【会場】文化会館

◆郷土芸能発表会

【日時】10月20日、13時30分～17時

【出演】愛甲・長谷ささら踊り盆唄保存会、伊勢十二座太神楽獅子舞保存会、古式消防保存会、法雲寺酒井双盤講、相模里神楽垣澤社中、子易・若宮八幡神社御輿保存会太鼓連、馬場太鼓保存会



いずれも定員は330人。☎当日直接会場へ。先着順。

☎文化財保護課☎225-2509



◆相模人形芝居特別公演

【日時】11月10日、13時30分～16時

【出演】相模人形芝居長谷座・林座、あつぎひがし座

■たんぼぼコミュニティ保育

火・木曜、10～12時。林。未就園児。☎河合☎090-9371-4384。

■コミュニティ保育エンジェル

火・木曜、10～12時。依知北・南。未就園児《募集期間》1月～2月末。☎谷川☎090-5582-6504。

■自主保育グループのびのび園

月・火・木・金曜、9時30分～14時。下古沢。未就学児(3歳までは保護者同伴)。☎のびのび園☎247-5849。

児童館指導員(臨時職員)を募集

《対象》18～65歳で子どもの健全育成に熱意のある方《勤務先》①山際児童館②上依知児童館《内容》子どもの指導育成や施設管理《期間》11月1日～2019年3月①24日②31日(更新可)《時間》月15日程度で10～17時のうち4時間程度《報酬》時給988円(土・日曜、祝日は1334円)。☎履歴書に写真を貼り、直接または郵送で10月10日(必着)までに☎243-0018中町1-1-3青少年課☎225-2581へ。10月17日に面接。

「きれいな道づくり活動」道路清掃ボランティアを募集

本厚木駅周辺の道路を清掃するボランティアを募集します。

《日時》10月27日、10～12時《定員》50人。☎電話またはファクスに「本厚木コース」、〒住所、氏名、電話番号を書き、10月1～15日に県道路管理課☎045-210-6359・☎045-210-8886へ。先着順。

市立病院の職員を募集

《試験日》11月18日《対象》薬剤師免許を持ち、100床以上の病院での職務経験が5年以上ある方若干名。

詳細は受験案内を確認。☎市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院HPからダウンロード可)を直接または郵送で11月7日(消印有効)までに☎243-8588水引1-16-36病院総務課☎221-1570へ。

競争入札参加資格定期申請

市が2019年4月1日～2021年3月31日に発注する建設工事・業務委託などの入札参加を希望する事業者は申請が必要です。☎11月30日までにかながわ電子入札共同システムHPから申請し、提出書類を12月3日(消印有効)までに簡易書留で☎243-8511契約検査課☎225-2171へ。

緑内障の早期発見で失明を防ぐ!成人眼科健診

《対象》市内在住で本年度40・45・50・55歳になる方《実施期間》2019年2月15日まで《内容》視力・眼底・眼圧・細隙灯顕微鏡検査など《費用》2300円《受診方法》申し込み後に送付される受診券を持ち、実施医療機関へ(予約が必要な場合あり)。☎電話で健康づくり課☎225-2201へ。

高齢者インフルエンザ予防接種

予防接種は、発症や重症化の防止に有効です。流行する前に予防接種を受けましょう。

《期間》10月15日～2019年2月28日《対象》接種当日、市内在住で65歳以上または60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器などに障がい(身体障害者手帳1級相当)がある方《費用》1500円(市民税非課税世帯で費用免除証明書交付を受けた・生活保護世帯・中国残留邦人支援給付対象の方は免除)《実施医療機関》HPを確認。☎健康づくり課☎225-2201。

ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E-Mail

インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆厚木と言えば子育て支援。読んでいて楽しかった/20代女性 ◆Wi-Fiを無料で使えて便利/40代女性 ◆市内でナシ・ブドウ・リンゴが栽培されていることを知らなかった/40代男性 ◆農家さんの苦労や思いが読み取れ、直売所でナシ、ブドウを買ってきた/70代男性 ◆「住みたい」「子育てしやすい」まちづくりは少子化対策として強化すべき喫緊の課題/70代男性 ◆あつぎハロウィーンが楽しみ/40代女性

編集後記

セーフコミュニティを長く続けている皆さんにお話を伺いましたが、共通して「当たり前のことをやっているだけ」という気負わない姿勢を感じました。自分のまちを自分で守るといふ自立した気持ちが心に根付いていて、それを自然に行動へ移せる地域コミュニティは、一朝一夕で完成するものではないと思います。長年活動をつないできた皆さんに敬意を感じるとともに、自分も安心・安全を人任せにせず、地域に恩返ししたいと思いました/水野

災害に強いまち

自治体防災対応力 **全国6位** (全国289市区中)



地震や台風などのいつ起こるか分からない災害から市民の皆さんを守るため、ハザードマップの作製やブロック塀補修の一部助成といった災害への備えを強化しています。

多種多様な揺れを再現し災害対応機能も備えた地震体験車を県内初導入

活気あふれる市街地に **1日あたり** **約1.8万人増**
中心市街地の歩行者数

多彩なイベントや2014年の「アミューあつぎ」オープンで中心市街地の歩行者数が増加。にぎわいある街づくりを進めています。



あつぎ国際大道芸



利用者150万人突破
あつぎ市民交流プラザ

本厚木駅南口の新しい顔 再開発ビル

商業・業務・居住が一つになった施設を整備し、さらなるにぎわいの創出を目指します。



2020年度完成予定

地域医療を充実 **平均寿命1.3歳アップ**

地域包括ケア社会の推進に取り組む他、2017年に市立病院をリニューアルオープン。皆さんの健康をサポートします。

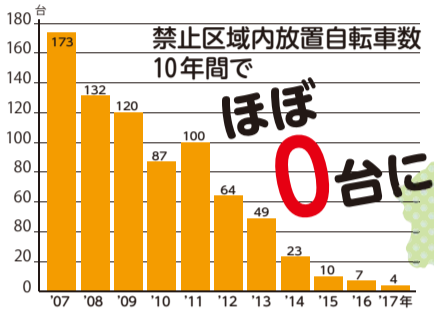
10年間で82.5歳から83.8歳に!

充実した検診制度
がん検診や成人歯科健診など、各種検診(健診)を実施。今年から骨粗しょう症施設検診もスタート。

住みよいまちに

安心・安全への取り組み

自転車の適正利用の促進や放置自転車対策により、安心・安全で快適な生活空間の確保に取り組んでいます。



数字で見る

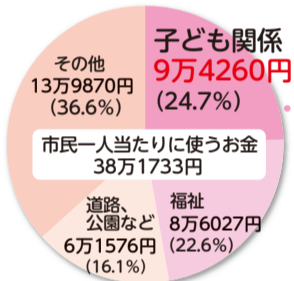
あつぎのまちづくり

市の総合計画「あつぎ元気プラン」がスタートして10年目に入りました。皆さんはまちの成長をどれだけ感じていますか。今回は、防災、子育て、産業など、市の成長の様子を紹介します。

企画政策課 ☎225-2455

子育て・教育環境日本一へ

2018年度子どもに関する予算額



約213億円

県内でも手厚い子育て支援を実施。昨年、日経DUALと日本経済新聞社が行なった調査では「共働き子育てしやすい街ランキング2017」**県内1位**に輝きました。

全体のおよそ4分の1! 10年で約52%増

地域で支える学校 コミュニティスクール

県内 **19市初** **CS** 全小・中学校導入



保護者や地域住民などが授業をサポート

学校と家庭、地域が協力して学校づくりに取り組み、子どもたちの豊かな学びを支えています。

学び舎を快適に

全市立小・中学校

703基 冷暖房完備

暑い夏も寒い冬も快適に授業を受けられるよう、全市立小・中学校の普通教室に冷暖房を設置しました。

こんなことに使ってます!

子育て支援センターもみじの手 医療費助成 紙おむつ支給 敷地面積 県内最大規模 中学生まで無料

積極的な企業誘致で豊かな街に 条例適用による **投下資本額**

県内 **1380億円突破**

※2005年に制定した企業誘致条例を適用して、企業が市内に土地や家屋などを取得した額

豊かな交通網を持つ市の特性を生かして、積極的に企業を誘致。森の里東や酒井地区など新たな産業拠点を整備し、さらなる企業誘致を進めています。



完成した森の里東地区のA工区

連載25周年 自然歳時記

ナラタケ キンメジ科

かさは茶褐色で大きさ3~15センチほど。柄の上部にツバがある。雑木林や倒木によく生えている。昔からよく食べられているが、食べ過ぎにはご注意ください。高松山の散策路で見つけた。 写真・文/吉田文雄



雨上がりの森は、暑かった夏を思うと涼しく爽やかだ。桜の木の根元に小さなキノコが群生していた。毎年この場所に生えるナラタケで、今年も一面に生える光景に何となくほっとした。

ナラタケは、広葉樹や針葉樹の枯れ木や倒木、切り株に生える。柄の長さは5~12センチで上部にやや白いツバ

を付ける。ツバは、キノコを見分ける一つのポイントになる。地方名でアシナガと呼ばれ、菌切れや味が良く、うどんなどの出し汁に使われ人気がある。

ふと見ると、落葉した赤いサクラの葉の上に、淡緑色のアオバハゴロモが雨に濡れた美しいナラタケと秋の日を惜しむように見つめていた。

厚木市の人口 (9月1日現在)

世帯数 9万9329世帯 (前月比60世帯増)

人口 22万5340人 (前月比21人減) 男11万6562人・女10万8778人